

(仮称) つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化  
促進期成同盟会の設立及び参加について

1 現状

(1) つくばエクスプレス沿線連絡協議会

つくばエクスプレスは、平成17年8月24日に現在の運行区間で供用が開始されており、沿線11市区によって、緊密な連絡のもと当該地域の発展に資することを目的として、「つくばエクスプレス沿線連絡協議会」が構成されている。

※協議会構成区市：千代田区、荒川区、足立区、八潮市、三郷市、流山市、柏市、守谷市、つくばみらい市、つくば市、台東区

(2) 国土交通省 交通政策審議会の答申

ア 平成28年4月答申第198号

「都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及び同構想と常磐新線(つくばエクスプレス)延伸の一体整備」を新たに位置付けた。

イ 令和3年7月答申第371号

都心部・臨海地域地下鉄構想について、「常磐新線延伸との接続も含め、事業化に向けて関係者による検討の深度化を図るべきである」とした。

(3) 都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画案

東京都が令和4年11月に公表した「事業計画案」では、まずは、都心部・臨海地域地下鉄の単独整備について検討を行うこととした。

また、つくばと臨海部の対流促進が図れるとともに、事業性の向上も見込まれることから、常磐新線延伸との接続については、今後の検討としている。



「都心・臨海地下鉄新線推進協議会(中央区)」より

#### (4) 区取り組み

これまで、区では都心部・臨海地域地下鉄構想の動きを注視しながら、沿線自治体と意見交換などを通じて、連携を図ってきた。

令和6年9月24日には、つくばエクスプレスを運行する首都圏新都市鉄道株式会社に対し、10市区連名で以下の3点の要望事項からなる「東京駅延伸等に係る要望書」を提出した。

ア 東京駅延伸について、東京都と連携を図り、都心部・臨海地域地下鉄構想との接続を踏まえた需要予測調査を実施し、沿線自治体への情報共有を強く要望

イ 通学定期乗車券の運賃引き下げを要望

ウ 混雑緩和対策として、「車両編成の8両化」の早期実現を要望

## 2 (仮称)つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会

### (1) 設立背景

東京都が「都心部・臨海地域地下鉄」の検討を本格化したこの期を捉え、つくばエクスプレスの東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄との接続に向け、これまで以上に活発な活動を行う必要がある。そのため、沿線自治体一丸となり、協力体制を確立することが重要であるとの考えから設立が提案された。

### (2) 経過

令和6年 8月 9日 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会において守谷市長から期成同盟会設立の提案がなされ、各市長が承認。

令和6年10月21日 守谷市長から台東区長に対して、期成同盟会参画の依頼。

## 3 今後の予定

令和6年12月下旬 設立総会予定